うるし振興研究会 検証結果

うるし振興研究会とは

経済産業省、（一財）伝統的工芸品産業振興協会、漆関係業界団体の代表者、有識者などで構成される、「漆」を起点とした伝統的工芸品のさらなる振興のための検証を目的とした委員会。

漆は、天然素材なのに、抗菌

縄文時代より日本では漆が使われ、漆を塗った漆器は、日本人の日常生活を支えて来ました。古くから漆には防腐、防虫効果があるとの言い伝えがあり、これまでも漆の抗菌作用について研究されておりますが、今回あらためて、代表的な産地で使用される漆について検査した結果、**漆が、食中毒を引き起こす菌を抑えることが分かりました。**

黄色ぶどう球菌

1 ㎠あたり約 17,700 個

➡（24 時間後）漆を塗っていないもの ＝ 約 20,400 個に増加

➡（24 時間後）漆を塗ったもの ＝ ほぼゼロ（1、2 個未満）

大　腸　菌

1 ㎠あたり約 19,400 個

➡（24 時間後）漆を塗っていないもの ＝ 約 446,600 個に増加

➡（24 時間後）漆を塗ったもの ＝ ほぼゼロ（1、2 個未満）

O157

1 ㎠あたり約 8,900 個

➡（24 時間後）漆を塗っていないもの ＝ 約 27,500 個に増加

➡（24 時間後）漆を塗ったもの ＝ ほぼゼロ（1、2 個未満）

サルモネラ菌

1 ㎠あたり約 14,400 個

➡（24 時間後）漆を塗っていないもの ＝ 約 60,200 個に増加

➡（24 時間後）漆を塗ったもの ＝ ほぼゼロ（1、2 個未満）

SARS-CoV-2（参考：抗ウイルス性試験結果）

1 ㎠あたり約 602,500 個

➡（24 時間後）漆を塗っていないもの ＝ 約 512,900 個に減少（約 14.8% が不活性化）

➡（24 時間後）漆を塗ったもの ＝ 約 1,300 個に減少（約 99.7% が不活性化）

※検査機関：産業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）認定機関。

※「漆を塗ったもの」とは、産地で使用する一般的な顔料を含んだ漆をガラスに塗ったもの、および、顔料を含まない漆そのものをガラスに塗ったもの。